

童

2022年7月1日。

「暑いというより熱い」「真夏日から猛暑日そして酷暑日」そんな新たな表現が続出してくるような日々が続いています。朝の挨拶も、「おはようございます」よりも「今日も暑いですね」というものになりそうに日常になりそうです。

夕涼み会に向けて、影絵を練習していますが「地面は乾き果てて人も獣も倒れていきました」という場面が、例年よりも、心に突き刺さるように感じます。

この時期、畑の種蒔きをする日が多いですが、地面が固い スコップが刺さらない そんな感触を子どもなりに感じているのではないのでしょうか。

22歳の頃、真夏のオーストラリア(12月から3月まで)の砂漠地帯をバイクで放浪していた時の暑さを思い出させる毎日。朝、地平線から昇る朝日を見る寸前までが、快適で涼しい世界。日の出とともに灼熱の世界が始まる。当たり前のように 今日暑いで、雨が欲しいとは思わず、これが当たり前の日常。口の周りは、汗が干上がり塩で白くなり、1ほどの低木の木陰を見つけて涼をとり、暑い夏を過ごしていた日々。そんな毎日に似ています。

そんな毎日ですが、子ども達はそんな地球環境の変化や脅威を全く知らずに、笑顔や歓声は例年と変わらず 大地の丘は賑やかな毎日です。コロナ環境で、相変わらず、朝の会は外で行われ、午前中の外遊びの時間は、以前よりも確実に1時間ほどは多くなっています。そこに、暑さが加わっているため、子ども達のエネルギー量は確実に増えています。そんな子ども達の健康を考えると、午後のお昼寝(実際に、3歳児は、午後30分程度、全員横になり休ませている)や休息が必要となるのかもかもしれません。環境変化と共に、日常の暮らしを柔軟性を持って考慮していく事も、重要な教育だと感じています。

環境や自然の変化やアクシデントは、何かを考えるとという啓示です。ここをいち早くキャッチして即応していくことが、特に未来ある子ども達に対する最大の贈り物だと感じています。この夏、視点を変えて乗り越えるには、やはり「朝・早朝」がキーワードでしょう。そう、大地は 実践中です!!

【早く 大人になりてえ!!】

海水浴日和。大地の夏の開始、流しうめん そして海水浴。暑さが続き、昨日の海水浴前日、「ああ、失敗だった、朝5時集合は遅すぎた、せめて3時半集合、5時海水浴開始にすぎなかった 甘くしすぎた!!」と後悔していました。

それでも、この気持ちを通じたのか、昨日の海は 雲が多く風もそこそこあって、幸運の女神(ハワイからの美しい女神達も加わり)のお陰で、大地の運が流れてきた素晴らしい日和となりました。冷静に顧みれば、海開き前、そして、この時間から海水浴をしている幼児達は、日常ではまずは珍しいでしょう。個人的に家族では居ますが、園バスで幼稚園として公式行事として行っている園は!? 健康や安全や親の負担(?)面からすれば、どう見ても異常かもしれません。そんなあえて異常な園を選んで頂いている皆さんに、心から感謝申し上げます。前文にありましたように、この酷暑気象を快適に過ごすには、私たちの暮らしを切り替える必要性があり、涼しい時間帯に活動する事が大切です。日の出小学校に続き、いよいよ日の出幼稚園が日常になりそうな段階になってきました!! そんな一端の海水浴。

文庫祭で印象的だった、文庫屋根でのクライマーが、上越の海でヒッチハイカーになって出現。スノボのバックカントリーが浮き輪とシュノーケルで、アラスカに行けて!! 続いて 人魚姫が海へ連れて行けて!! 幹線道路の車の行き交う中、よくぞ、その格好で待っていてくれました、本当にありがとう。

平日の海開き前の静かな誰も居ない海で、安心安全に貸し切りで楽しむ為に来たのに、海岸に「先客がいる!!」サッカーをしている若者・ドラムを練習しているヒッピー・健康のために あなげんを読みながら砂浴をしている人砂浜で畑を作り農業をしている人・そして待ち焦がれた海には、変な海坊主風な大人が、浮き輪で泳いでいる。恐る恐る近寄ってみると、夫に向かい「朝、仕事に早く出かけると言って、こんな所で遊んでいるのか 真面目に仕事に行つてよ」と母親達の罵声(!!!???) 子ども達は 目を白黒して無言状態。ああ、下手なバラエティやドッキリよりも面白い!!

浜焼きのトウモロコシの火に暖まりに来るほどの快適で涼しい海を7時前から楽しみだし、たっぷり遊んだと思っても、まだ9時前。トウモロコシを食べて遊び、テトラポットの島へ行ったりして楽しみ、またまたおやつのスイカ割り。何か面白い割り方はないかと考え、父親達に活躍してもらおうと。サップとサーフボードスイカ割りは、見ている人を十分楽しませてくれました。

再び海遊びが、場所をちょっと移動して、岩場(昨年のお父さんデイで行った場所)で開始。堤防の堤が素晴らしい舞台になりそうだとひらめき、ハワイアンショーはここでしかないと確信。フラダンスの踊り手 演奏者 歌手の登場シーンは、観客を皆黙らせる程の、素晴らしい世界でした。そして、海岸をバックに踊る姿は、その情景は、本当に心を打つ言葉には言い尽くせない世界でした。幸福感たっぷりの時間でした。踊り手たちの幸せ感溢れる笑顔が、本当に 海に来て幸せだと、私たちに伝えてくれました。本当に 感謝です。

前日 心を込めて暑い中、火を焚いて長時間 重ね煮をして作って下さった重ね煮カレー。青い空と海を見ながら時折吹く風を感じて食べたカレー。本当に美味しかったです。素晴らしいランチタイム。そして、期待に込めて、イルカショーなみに、次々と海へ飛び込んでくれた大人達。板飛び込みの競技のように、パフォーマンスたっぷりの飛び込みが、子ども達を総立ちにさせてくれました。きっと、この子ども達も、必ず、今後やってくれるでしょう。

食後のスイカを味わい、シャワーでさっぱりした後は、オーガニックシロップたっぷりの海辺でのかき氷を味わい、最後の最後まで、大地の海水浴が続きました。これぞ、海水浴の1日でした。と言っても、ちょうど12時。これから本格的な暑さが訪れる前に退散。そして大地には、2時前には 無事到着。

本日も、バラエティ顔負けの1日が終わりました。父親達は、母親を騙してのパフォーマンスを楽しみ、ゆみちゃんには、朝に人魚姫になってと言われ、クライマーは 長時間沿道に立たされ、農夫は 早朝から大がかりな場違いな場所に畑を作れと言われ、何も知らされず海へ来たなら、穴を掘って埋められ、ドラムを持ち込まれ、ただサッカーをしていると言われ、極めつけは ひたすらわかめを付けて泳いでいると言われ、暑いコンクリートを素足で登場しろと言われ、泳いで海の中から登場しろと言われ・・・ 朝5時集合と言われ・・・ のんたん母さん曰く「それに文句を言わない親が一番偉い 大人だ 才覚がある」と。

「お父さん お母さん 毎日って楽しい? 大人って楽しい? 楽しいこといっぱいある?」
「早くおじいさん おばあさんになりたいという子どもが急増、だって 自由に好きな時間を好きなことで使えるから」逆を言えば 大人になりたくない 苦しそうで自由でなく人生を愉しそうに生きていないからと。大地の大人は楽しい、大人ってこんなに楽しいんだよ、だから大人になるっていいんだよと。でも、青ちゃんは、おじいさんだよ!?

